

# 八千代町ゼロカーボンシティ宣言

近年、世界各地で地球温暖化が原因と考えられる異常気象による大規模自然災害が多発しており、国内においても、全国各地で集中豪雨や大型台風などによる災害が多発化・激甚化しています。

これらの気候変動は、自然環境や生態系に悪影響を与えているだけでなく、人々の生命や生活基盤を根本から揺るがし、もはや「気候変動」ではなく、「気候危機」と言われる極めて深刻な問題となっています。

こうした問題の解決に向けて、2015年に合意されたパリ協定では、「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」という世界共通の長期目標が掲げられています。

また、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、気温上昇を1.5℃に抑えるためには、「2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることが必要」とされています。

本町では、令和3年3月に「八千代町第6次総合計画」を策定し、まちの将来像である「ともにつむぎ ひびきあう 協奏のまち やちよ」の実現に向け、ごみの減量化をはじめ、温室効果ガス削減の啓発・周知による環境に対する意識の向上や、再生可能エネルギーなどの利用を促し、地球温暖化対策を進めています。

今後も、本町の豊かな自然環境と町民が快適で安心して生活できる環境を次世代に引き継ぐため、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すことを宣言します。

令和4年6月1日

八千代町長 野村 勇